

まるかじり夏キャンプ2018

ボランティアスタッフ

(キャンプリーダー、カウンセラー、サポーター)

募集要項

(ぼしゅうようこう)

社会教育実習プロジェクト～リーダー・自己実現人に向けて～
本募集は、当校が推し進める上記プロジェクトの一環で
実施するボランティアスタッフの募集です。

- はじめに -

NPO法人アルクス教育研究所および日本アルクス自然学校は、様々な体験学習を通して青少年の健全育成や地域で活動する地域指導者の育成をめざして設立された特定非営利活動法人です。

豊かな自然の中で、子どもたちとともに不便なキャンプ・合宿生活をしながら、“自立心”と“生きる力”を育み合ってください。
また「人生の先輩」として、または「オトナ」として子どもたちの心身の安全管理やリーダーシップをとっていただける方として「まるかじり夏キャンプ」キャンプリーダー・カウンセラー（兼ボランティア・スタッフ）を募集しています。
ご希望の方は、申込書類を当校まで提出ください。

キャンプリーダー・カウンセラー募集目的

キャンプリーダー・カウンセラー※は、参加者である年長、小中学生(以下子どもという)とともに生活をしながら、参加する子どもたちの“自立心”と“生きる力”を養うために尽力していただきます。また、その生活の中からキャンプリーダー・カウンセラー自身の“自立心”と“生きる力”を養うこと、子どもたちや自身の安全管理や活動中のリーダーシップ、他のカウンセラーや本部スタッフとの責任ある協働などからも“自立心”と“生きる力”を代表とする様々な“チカラ”を養うことを目的とし、将来、自己実現につながる人間形成を築けるきっかけにしてもらうことを大きな目的としています。

※キャンプリーダー・カウンセラー(サポーター)

総称して相談員(またはスタッフ)と呼んでいます。無償性からボランティアスタッフとも呼ばれますが、一定の責任や義務を負うことは予めご承知ください。キャンプリーダー・カウンセラーは、キャンプ合宿中、参加者である子どもたちの心身の安全管理を常にカウンセリングし、分析や対応をすることはもちろんのこと、リーダーシップを発揮しないといけない場面は、リーダーとして活躍し、子どもたちや運営のサポートをしないといけない場面では、サポーター(またはスタッフ)として活動する場合があります。その場面に応じた立場をうまく使い分けながら子どもたちや他者と接していく必要があります。

本キャンプ合宿の参加対象として、東海・北陸(・関西)の子ども参加者を募集しており、下記のような本キャンプ合宿開催の最優先の目的があることをご承知おきください。

参加子ども向けの本キャンプ合宿開催目的

福井県大野市六呂師(ろくろし)地区の各地域とその周辺の自然豊かな環境のもと、異年齢集団の中で、相互理解、交流を図り、自主性、協調性、主体性などの育成を基本としながら、他人との付き合い方、自分との付き合い方を考え実践し、将来必要な生きていくための能力「自立心」と「生きる力※」を野外活動と集団生活で養い合い、将来的な人間形成の土壌をつくることを目的とします。また、自然のモノを利用し、創り、遊び、学ぶことにより、自然環境の理解、意識向上を促し、自然環境の大切さを認識することを目的とします。

※生きる力とは

自分で課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、行動し、よりよく問題を解決する能力、自らを律しつつ、他人と協調し、他人を思いやる心や感動する心など豊かな人間性とたくましく生きるための健康や体力 ~中央教育審議会答申より~



これまででも、これからも実社会は、変化の激しい、先行き不透明な、厳しい社会と考えられます。

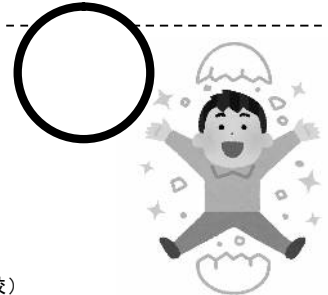
「生きる力」とは「生きる(存在する)」ことを意味しているのではなく「生きぬく」力を意味しています。

机上や紙面の知識でなく、仮想空間の言動ではなく、生きていくための「知恵」と「行動」を養う必要があります。長年の人間社会や文化が築いてきた知識や経験を基礎にしなが、社会生活で実際に生かされるものでなければなりません。自分で課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、行動し、よりよく問題を解決する能力、自らを律しつつ、他人と協調し、他人を思いやる心や感動する心など豊かな人間性とたくましく生きるための健康や体力を養うこと、つまり「生きる力」を育むことが、変化の激しい、先行き不透明な、厳しいこれからの社会や時代には特に必要です。

活動期間

7月22日～8月25日

(上記全期間中で各コース、各組に合わせて集合・解散ができる方)※各コース・組は、3ページなどを参照ください。



活動場所(宿泊場所)

福井県大野市六呂師地区全域、大野市、勝山市周辺 【宿泊場所】:大野市六呂師自然楽舎(日本アルクス自然学校)

参加対象 ※本キャンプ・合宿の目的や主旨に賛同できない場合や下記の条件を守れない場合などは参加をご遠慮ください。

- ・高校生以上の男女(高校生の方は保護者の同意が必要)
- ・年齢30歳位まで
- ・心身が健康な方で体力に自信のある方

参加条件 注意: 本キャンプ・合宿参加者(子ども)の保護者またはご家族の方はご遠慮ください。

- ①宿泊(コース・組ごとの日程で参加)できる方
- ②不慣れた野外体験・生活を楽しめる方
- ③自分で参加の決意をし、募集要項など募集資料記載事項に理解・賛同・承諾できる方
- ④当校の規則やルール、法令や社会規範を厳守できる方
- ⑤参加する子ども向けの規則・ルールである「キャンプ・合宿の五ヶ条ルール」及び「生活の基本心得」を自身が守れ、指導できる方
- ⑥説明研修会に参加できること(夏季以外は、「開催なし」もあります。その都度確認ください。)

※説明研修会終了後の応募者、リピーターで都合のつかない人、福井県外者は別途相談可。その他、下記「事前説明・研修会について」参照のこと

事前説明・研修会について(夏季)

参加が確定した方のための事前説明・研修会です。本事前説明・研修会に出るから参加するかどうかを決めるという主旨のものではありませんのでご注意ください。参加が確定した人は、事前の説明および研修会には必ず参加してください。参加は確定しているが、どの日程になるかはまだ決まっていない人(当校担当者に説明・研修会当日に日程を相談してほしいと言われた方など。)も必ず参加してください。福井県外在住者やどうしても参加できない場合、事前説明研修会終了している場合には、別途相談ください。

また、リピーターのリーダー(ボランティア)は、電話で過去との違いなどの説明を受ければ、本説明・研修会に参加しなくてもOKな場合もあります。

参加費などについて

参加費は必要ありません。(宿泊費や飲食費も当校が負担します。)

宿泊環境	子どもたちと同じ施設(廃校再活用施設)で施設泊。一部隣接のキャンパスサイト場(廃校再活用施設)でのテント泊になる場合があります。 ※冬季は、施設泊のみ。また、1泊2日は自然の家施設。
食事	基本は、子どもたちと協力して作り(野外炊飯または自炊)、一緒に食べます。一部給食もあり。※冬季1泊2日は、施設支給食の場合あり。
傷害保険	当校が一定の傷害保険に加入します。(「安全および傷害保険について」を参照)
交通	集合・解散場所⇄会場までの区間は、当校が手配した貸切バス※に乗りください。(無料) 但し、自宅⇄各集合・解散場所(現地含む)は自費負担をお願いします。※詳細は、「往復の交通について」を参照ください。 尚、関西、東海、北陸在住以外の方は、住居最寄駅⇄新大阪駅/名古屋駅/岐阜駅/福井駅の交通費を支給します。 (但し、交通手段・経路・時間は当校指定になります。)全国各地在住の方は、一度事務局まで相談ください。

日程・コース・組・宿泊数などについて

現地集合/解散	日程	コース・組名	宿泊数
17時頃/8時頃	7/22(日)~7/25(水)	サマースキーヤーコース or 昆虫博士コース	3泊4日
17時頃/8時頃	7/25(水)~7/28(土)	アソボーヤコース1組 or 釣りコース1組	3泊4日
17時頃/8時頃	7/28(土)~7/31(火)	アソボーヤコース2組 or 遊牧民コース	3泊4日
17時頃/8時頃	8/04(土)~8/07(火)	アソボーヤコース3組	3泊4日
17時頃/8時頃	8/07(火)~8/09(木)	チャレンジコース1組	2泊3日
17時頃/8時頃	8/09(木)~8/11(土)	チャレンジコース2組	2泊3日
17時頃/8時頃	8/11(土)~8/13(月)	チャレンジコース3組	2泊3日
17時頃/8時頃	8/16(木)~8/19(日)	アソボーヤコース4組 or 狩人コース	3泊4日
17時頃/8時頃	8/19(日)~8/22(水)	アソボーヤコース5組 or 原人コース	3泊4日
17時頃/8時頃	8/22(水)~8/25(土)	釣りコース2組 or 湖の達人コース	3泊4日
17時頃/8時頃	8/04(土)~8/11(土)	スーパーコース	7泊8日
17時頃/8時頃	8/16(木)~8/22(水)	ウルトラコース	6泊7日

※同日程でコースが2種類ある場合は、どちらかに配属されます。希望はできませんので予めご了承ください。

※集合は現地に夕方17時頃、解散は現地を朝8時頃に解散しますので、集合解散日に予定がある人も一度検討ください。

毎年、応募が一つや二つのコース・組(日程)に集中する傾向がみられますので、できるだけ第1希望~第4希望まで多く希望されたほうが参加できやすくなります。

ちなみに、①8月4日から混みます。(大学等が夏休みに入る時期にて)また、②2泊3日の日程が混みます。(最初は2泊からと思う人が多い...)

特に、②は希望される人が多いのであまり第1希望に添えないと思っておいてください。

逆に、7月22日~7月31日までの日程は第1希望で参加しやすいです。

希望者が多い日程は書類選考および説明研修会でしっかり説明を聞き、研修で当日しっかり活動(学習・実習)できそうかどうかを選びます。

定員について

全日程40~60名ほど(各日程でそれぞれ4名~7名前後。但し、7泊と6泊の日程は、各2~4名)

活動内容について

目的にそった主旨のもと、本キャンプ・合宿に参加する子どもたちがグループ(10人前後)に分かれるので、そのグループを担当し、キャンプ合宿生活を共にし、子どもたちのカウンセリングやリード、サポートを行っていただきます。(※冬季1泊2日は若干グループ構成が変わります。)

<具体的には?>

【一緒に体験し学び、遊ぶ】(社交性、リーダーシップ、チームワークづくりなどを身につけます)

- 笑顔いっぱい子どもたちと接し、子どもの信頼を得る。子ども同士トモダチをたくさん作れるようなサポートを行う。
- 野外活動(夏季は、川遊び、森探検など/冬季は雪遊び、スキー、スノボなど)と一緒に体験し遊び・学び、心身の安全を管理する。
- 食事(野外炊飯含む)を一緒に作り、テーブルを囲み一緒に食べ、寝床を一緒に作り、まくらを並べて寝ます。(冬季は施設食の場合あり。)

【安全に気を配る】(自他を知る能力育成、安全管理、リスク管理などを身に付けます)

- 活動ごとの子ども達の安全面に気を配る ⇒ ケガ、事故、事件が起きないように危機意識をもって子ども達に接してください。
- グループ内の子ども達の心身健康チェックを行う。⇒ 毎就寝前に子ども一人一人の健康管理を行ってまいります。
- 野外活動時間以外も常に心身の安全管理と身のまわりのサポート(特に年長、小学低学年)を行います。
- 困っている子ども(一人ぼっち含む)がいたら助言する&相談にのる ⇒ 難しい場合は本部に相談してください。

【その他(社会性などを身に付ける学びの場)】

- ミーティングに参加する。⇒ 本部 & 他カウンセラーとの情報共有、打ち合わせ、段取り等を行います。
- 本部からの指示・伝達事項を守り活動にあたる。
- 本部からの連絡事項等を子ども達に伝える。
- 本部スタッフのサポート。
- 他カウンセラーのサポート。



コースごとの活動内容

以下は参加する子どもたちの活動内容です。リーダー/カウンセラーの方は、付き添い・サポートのみの活動も多くあり、全ての活動に参加できるわけではありませんので予めご了承ください。

チャレンジコース (低学年が多いかも)	野外炊飯(火おこし&ご飯づくり)、ドラム缶風呂体験、合宿施設泊 協働プログラム(仲間づくり活動、協働活動、たすけ合い活動、話し合い活動)、 夜の活動(キャンドルファイヤー、交流レクリエーション活動など) 川遊び活動(遊泳、チャレンジダイビング、川の生き物探し、川岸遊びなど)、振り返り交流会 ※川活動は、悪天候特別活動
アソボーヤコース	野外炊飯(火おこし&ご飯づくり)、ドラム缶風呂体験、テントで泊まってみよう活動(※悪天候時に施設泊)、 協働プログラム(仲間づくり活動、協働活動、たすけ合い活動、話し合い活動)、 夜の活動(キャンドルファイヤー、レクリエーション活動など) 川遊び活動(遊泳、チャレンジダイビング、川の生き物探し、川岸遊び)、谷川冒険(沢のぼり&くだり)/自然・野外アソビ体験、 振り返り交流会 ※川や谷活動は、悪天候特別活動
サマースキーヤーコース	アソボーヤコースのプログラム(一部ない活動あり) + 夏のスキーまたは、夏のスノーボード活動
昆虫博士コース	アソボーヤコースのプログラム(一部ない活動あり) + 昆虫採集、昆虫トラップづくり
釣人コース	アソボーヤコースのプログラム(一部ない活動あり) + 魚釣り体験、魚手づかみ体験
遊牧民コース	アソボーヤコースのプログラム(一部ない活動あり) + 牧場体験、乳搾り体験・新鮮牛乳でのバターづくり
狩人コース	アソボーヤコースのプログラム(一部ない活動あり) + 狩人プログラム(食材探しのゲーム、ハイキングなど)
原人コース	アソボーヤコースのプログラム(一部ない活動あり) + 化石発掘体験、資料館見学
湖の達人コース	アソボーヤコースのプログラム(一部ない活動あり) + カヌー/カヤック&湖のほとりでの野外活動
ウルトラコース	アソボーヤコース・原人コース・狩人コースのプログラム(一部ない活動あり) + リバーラフティング体験、 新鮮牛乳でのアイスづくり、その他
スーパーコース	アソボーヤコース・原人コースのプログラム(一部ない活動あり) + パラグライダー体験、 新鮮牛乳でのアイスづくり、まるかじり交流パーティー企画・準備など

(注)天候により、内容が変更する場合があります。また上記内容を予告なしに変更する場合があります。

往復の交通について

交通に関しては、下記集合解散場所を選択でき、貸切委託バスまたは団体所有車(JR新大阪駅集合解散は、電車や高速バスの場合もあります。)で参加者(子どもたち)と共に会場まで向かいます。その際、主催者担当スタッフの引率サポートをしていただきます。

下記、集合・解散場所⇄会場までの区間は、無料です。但し、自宅⇄各集合・解散場所(現地含む)は自費負担をお願いします。

集合・解散場所	詳細場所	全コース・組共通	
		集合時間	解散時間
JR新大阪駅	駅3階在来線コンコース東出入口付近(改札外側)	13:00	11:50頃
JR名古屋駅	駅太閤口内 新幹線のりば前 銀の時計(モニュメント)付近	12:20	12:00頃
JR岐阜駅(注1)	駅北口 じゅうろくプラザ前公衆トイレ(バス駐車場前)付近	14:15	10:15頃
JR福井駅	駅東口(アオッサ[AOSSA]側) ロータリー内バス駐車場付近	15:30	09:20頃
大野郵便局前	大野郵便局前(福井県大野市)	16:30頃	07:50~08:20頃
現地	六呂師自然楽舎正面玄関	17:00頃	08:00頃

全国各地在住の方へ

関西、東海、北陸在住以外の方は、居住最寄駅から新大阪駅/名古屋駅/岐阜駅/福井駅の交通費を支給します。但し、交通手段・経路・時間は当校指定になります。全国各地在住の方は、一度事務局まで相談ください。※帰り分も当校担当者にどのように帰宅するかを予め相談、確認ください。

- 集合時には昼食、トイレ、酔止薬服用(必要な方)を済ませてから集合し、解散後は各自昼食をおとりください。
- 解散については、参加者の子どもたち全員を保護者に受け渡したあとになります。解散時には余裕をもってお願いします。
- 集合解散は原則、同じ場所をお願いします。※集合と解散を違う場所に希望する場合は、必ず申込時点で連絡ください。但し、乗車定員等でお受けできない場合もあります。

ご注意ください!

注1)JR岐阜駅の集合解散について

JR岐阜駅は、「名古屋駅」発着バスの途中乗車・下車扱いになります。そのためスタッフは事前に待機しておりませんので、送迎のスタッフ・バスが来るまでは、必ずお待ちください。また道路状況により時間が大幅にずれこむことがあります。

注2)各集合・解散場所の遂行について

各集合・解散場所からの参加者(子ども)数が8名以下の場合は公共交通機関や団体所有車を利用します。(交通手段がかわります。)その場合、集合解散時間や場所などに変更がありますので、予めご了承ください。詳細については「事務連絡通知書(最終版)」や当日までに連絡します。5名以下の場合はその集合解散場所からの送迎はなくなる場合があります。その場合は、出発日の7日前後までには当校から連絡を行います。

注3)集合解散時間の遅延について

道路状況により時間が大幅にずれこむことがあります。予定時間より30分以上遅れる場合はこちらから連絡(緊急連絡先)を随時行いますので、協力をお願いします。(通話ができない場合は、着信のみや留守メッセージを入れることになります。)

注4)渋滞など(特にお盆帰省)について

8月13日の解散、8月16日の集合は、特にお盆の帰省時期と重なりますので渋滞となるのが予測されます。注3)と合わせて協力と理解をお願いします。

天候（雨天時・台風など）について

基本的に雨や台風など(冬季は、雨や大雪など)により開催が中止になることはありません。各活動プログラムにより対応は異なりますが、安全面を十分考慮した上で多少の雨の場合でも、レインコートなど(冬季は、スキーウェアなど)を着て活動を行います。野外での活動が難しい場合は室内プログラムに変更となることもあります。万が一、当日の会場や交通経路、安全面などを検討した上で主催者が開催中止と判断した場合は、こちらからその旨をご連絡いたします。

当日の体調不良などについて

活動中に体調不良または軽症・軽傷な怪我・病気になった場合は、施設の保健室で休憩や応急処置をすることができます。長期休憩を要する場合・活動の妨げになる場合などは、ご帰宅願う場合があります。その際の交通費等の費用は原則、実費負担願いますので予めご了承ください。

当日、病院にかかった場合について

期間中に怪我や病気になった場合は、最寄りの病院で診察を受けます。その場合の費用にしましてはご負担をお願いいたします。状況によっては、ご家族の方に連絡相談のうえ、帰宅願う場合もあります。その際の交通費等の費用は実費負担願いますので予めご了承ください。尚、傷害保険の適用等についての詳細はお問い合わせください。

安全および傷害保険について

キャンプ・合宿などの野外活動は、安全・安心第一です。しかし一方で野外活動の重要性は、「多少のリスクを恐れないこと」でもあります。そのバランスがとても大切だと考えていますので野外活動では、軽度の怪我やストレスなどを負うことは予めご理解ください。軽傷の場合は、施設の保健室で手当を行います。重症や大事をとって検査する場合などは最寄りの病院に搬送します。そして万が一に備えて当校で下記の通り保険に加入しており、その保険の範囲内によって入院費や通院費を補助します。

当校が加入する保険 【契約保険会社】 損害保険ジャパン	最高限度額：1名 1億円または1事故2億円(均等割)入院：1日 3,000 円 通院：1日 2,000 円(免責あり) 対象期間：当該日から 180 日以内の入院・通院 限度日数：通院の場合 90 日、入院の場合は通院と合わせて 180 日
--------------------------------	---

お風呂（入浴）について

施設にはシャワーなどの設備はあります。(冬季は、入浴施設あり。)当日の天候や活動による過度の汚れを考慮した上で主催者が必要と判断した場合は適宜入浴をします。ただし、野外教育活動であることを鑑み、その上で衛生面を確保できると判断した場合は、入浴しないこともありますので予めご了承ください。尚、1 日目夜の入浴は時間がないことが予想されるので、予定していません。(冬季1泊2日は、1 日目夜に入浴時間がありますが、短時間をお願いしています。)

キャンプネーム（ニックネーム）について

キャンプ・カウンセラーの方は、必ずキャンプネームをつけてもらいます。キャンプネームをつけることによって、参加する年長、小中学生の子どもたちは、気軽にオトナたち(高校生・未成年含む)に友達意識を持ってくれます。そうすることによって、子どもたちはオトナたちに心を開放し、良い関係性を築きやすくなり、キャンプ・合宿中の様々な不安や心の問題をあなたにうち明けてくれたり、信号を発信してくれるのです。それを的確に汲み取って相談員として、また良きオトナとして接することがこのキャンプ合宿では重要です。

持ち物について（参考）(注)リュックサックを除く下記の持ち物を入れるバックなども必要です。(リュックサックは、活動用の小物入れと考えてください)

最終詳細は、参加が確定した方に「事務連絡通知書(最終版)」という資料に記載します。本資料を説明研修会にて直接配付します。

持ち物については全てフルネームで記名をお願いします。下記は参考程度です。

- リュックサック 水筒 ハンカチ・ティッシュ 洗面用具 長袖・長ズボン 半そで・半ズボン 帽子 下着 靴下 はし・スプーン 上履き
- タオル 軍手 雨具 筆記用具 名札(ケース) ビニール袋 黒系の Tシャツ or ポロシャツ 1 枚(解散時着用のこと)
- かかと留め付サンダルまたはウォーターシューズ 水着 メモ帳 1冊 掛け布団用のタオルケットまたはバスタオル(寝袋でも可)
- 腕時計 懐中電灯 必要な人は常備薬 健康保険証の写し 笑顔 その他必要と思われるもの

※1 上記持ち物は変更する場合がありますので、必ず「事務連絡通知書(最終版)」にてご確認ください。

※2 6泊7日以上に参加の方、または連続で参加の方は中日(なかび)に洗濯ができます。

※3 掛け布団が必要だと思われる方は、タオルケットまたはバスタオルを持参ください。(宿泊施設に掛け布団の準備はありません。)準備・用意できる方は、寝袋でも可です。ちなみに、3泊4日以上コース・組に参加する方は、テント泊があるかもしれません。

持ってきてはいけないもの（身につけてはいけないもの）（参考）

基本的に保護者や当校スタッフが見て、青少年育成事業である本事業にふさわしくないモノを持ち込んだり、身につけてきたりした場合は厳しい対応を行いますのでくれぐれもご注意ください。また下記は例ですので、ご自身がこれぐらいは・・・というものでも当校から認められないことが多々あることを予めご承知おきください。判断が難しい場合は当校に予め了承を受ける必要がありますので、お問い合わせください。

- 長いつめ(マニキュア・ペディキュアも×)
- 華美な色の髪(金、紫、赤など本来の髪色からほど遠い色)
- 華美な化粧
- タトゥー・刺青(いれずみ)など
- 華美な服装(破れたズボン、腰履き、スカート、高露出服も×)
- 装飾品(ピアス、イヤリング、指輪、ネックレス、ブレスレット、リストバンド等)
- カメラなど(画像・映像等を撮影するもの)
- 刃物類
- 火気物
- ゲーム類
- マンガ・雑誌類
- 携帯ラジオ・ヘッドホンステレオ類
- おかし・ジュース・アルコール類
- タバコ・麻薬等の薬物類
- その他教育上相応しくないもの
- その他社会通念上相応しくないもの

※携帯電話は持ってきて構いませんが、期間中は当校からの依頼または、緊急時のみの使用程度に控えてください。

個人情報保護について

- 取得した氏名、住所、年齢等の個人情報は主催者の方針に基づき管理・保管しており、ご本人の同意を得た者以外の第三者に提供、開示等は一切致しません。
- 今後、当校より各種案内などを郵便物等により皆様に送付させていただく場合がございます。
また、ご本人の申し出により、これらの取り扱いを中止させることができます。
- 活動中に撮影しました写真やいただいた意見・感想などは、ホームページなどの資料に使用することがありますので、予めご了承ください。
もし、写真などの利用について問題がある場合は、申込み時にその旨ご連絡いただくか、使用に際し不都合がある方は当校にご連絡ください。

義務と責任について

キャンプ・カウンセラーとしてお申し込みされ、当校に承諾された時点で当校は、カウンセラーの皆さんの管理責任などを負うこととなります。よってカウンセラーの皆さんにも本募集要項および関連書類上の規則やルールはもちろんのこと、民法や刑法等の社会法規も当然厳守していただくこととなります。民法や刑法、その他社会法規については、多種多様にわたるため説明や研修を原則行いませんので、自己責任の原則に基づきお申し込みください。

下記のような場合は参加者の責任の下、対処くださいますようお願いいたします。（一部例）

キャンプ期間中のキャンプ・カウンセラー本人が故意に起こした事故、事件(相手を傷つけケガを負わせた、窃盗、備品損害など)、集合以前のトラブル・解散後のトラブルなど

社会人の方の応募について

このキャンプ・カウンセラー募集は、社会教育実習として高校生以上の学生を中心とした若い方たちに、社会や地域、企業・組織の中で生きるために必要な人間関係や心構え、安全管理、経験やスキル、知識などを養う場として提供されていますが、社会人の方がキャンプ・カウンセラーに参加することも、生涯学習上とても重要なことと位置づけています。10代後半から20代中前半の若い方対象としたボランティア参加・体験型学習プログラム(=社会教育実習システム)ですので、30歳までとさせていただきますが、社会人の方も休暇等を利用して是非参加ください。



**持ってきてはいけないもの
身につけてはいけないものは
原則禁止です。
普段は個性自由ですが
このキャンプではやめましょう！**

(夏
季
バ
ー
ジ
ョ
ン)



**持ち物で、
水着を持ってこない。
サンダルが、かかと留めなし。
メモ帳なしが特に要注意。
必ず持ってきてね。**

(冬
季
バ
ー
ジ
ョ
ン)



**持ち物で、
特に注意なのが、冬季
1泊2日での昼食弁当です。
また、メモ帳なしも特に要
注意。必ず持ってきてね。**

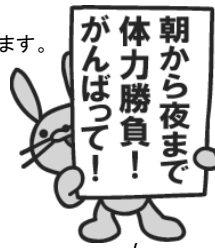
当日の流れ

チャレンジコース(2泊3日)の例です。⇒3泊以上は2日目の流れが繰り返されます。



<p>【初日】 (名古屋駅の場合)</p> <p>《集 合》 ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ 《現地到着》 《入所式など》 ↓ 《初日夕食》 ↓ 《夜の活動》 ↓ 就寝(子ども) ↓ ↓ ↓ 《ミーティング》 ↓ 就寝</p>	<p>(名古屋駅の場合)</p> <p>参加者・保護者の方の集合<u>時間前</u>に当校担当スタッフが皆さんの受付をし、集合受付時での皆さんの役割分担を行います。</p> <p>集合場所からバス待機所に移動し、バス出発(バランスよく座り、バス中の子どもたちの安全管理、話し相手になってもらいます。基本はバスレクやDVD鑑賞を行っています。) (岐阜駅集合者を迎えにいきます。) ～バス乗車中～高速道路のパーキングエリアなどで2回ほど休憩します。 車や往来者に気を配って子どもたちの安全に注意してください。</p> <p>現地到着後、入所式、オリエンテーションを行い、その後班分けをし、各班ごとに自己紹介をリードしてもらいます。</p> <p>初日は当校が準備した夕食を食べます。(施設支給の食事を食べますが、配膳や用意は各自で行い、低年齢の子どもをサポートも行います。)</p> <p>できるだけ友達≠トモダチができるように、ゲームやレクリエーションにてアイスブレイクを行います。 リーダー/カウンセラーの皆さんもいっしょに場を盛り上げてください。</p> <p>子どもたちの就寝のサポートや心身の健康チェックを行ってもらいます。 チェック票をもとに、担当スタッフに報告とカウンセリングを行います。 子どもたちの就寝準備が終わり次第、全スタッフのミーティングを行います。</p> <p>カウンセリングをもとに、キャンプ期間中、子どもたちとどのような関わり方をするのかをスタッフ全員で話し合います。 ミーティングが終了後、深夜23時までにはカウンセラーの皆さんも就寝ください。</p>
<p>【2日目】 起床</p> <p>《朝 食》 ↓ 《午前の活動》 ↓ 《昼 食》 ↓ 《午後の活動》 ↓ 《夕食(野外炊飯)》 》 ↓ 《夜の活動》 ↓ 《ミーティング》 ↓ 就寝</p>	<p>当校が用意した朝食を食べます。※コース・組によっては野外炊飯や自炊を行う場合もあります。 (支給食の場合は配膳等の手伝い。炊飯の場合は、子どもたちが行う火おこし、調理等のサポート等を行います。)</p> <p>各コース・組ごとに活動(山・川遊びなど)を行います。(一緒に楽しく過ごしながら、心身の安全管理、その他の準備やサポートを行ってもらいます。)</p> <p>当校が用意した食事をとります。</p> <p>各コース・組ごとに活動(山・川遊びなど)を行います。 (一緒に楽しく過ごしながら、心身の安全管理、その他の準備やサポートを行ってもらいます。) 野外炊飯を行います。(子どもたちが行う火おこし、調理などのサポート等を行ってもらいます。)</p> <p>夜の活動(お別れ交流会など)を行います。※3泊以上の2日目夜は、その時々で変わります。 (一緒に楽しく過ごしながら、心身の安全管理、その他の準備やサポートを行ってもらいます。)</p> <p>子どもたちの就寝準備が終わり次第、全スタッフのミーティングを行います。</p>
<p>【最終日】</p> <p>《朝 食》 ↓ 《帰 省》 ↓ 《解 散》</p>	<p>簡易な朝食を食べます。</p> <p>集合と同様、途中休憩をはさみながら各解散場所へ移動します。 (福井駅と現地解散は休憩はありません。)</p> <p>全参加者を保護者に<u>受け渡した</u>後、解散となります。ご苦労様でした!</p> <p>指定日までに終了実習レポートの提出(予定※) (※行わないコース・組もあります。)</p>

- ☆要所で、子どもたちの「心身の健康チェック」を行ってもらいます。
- ☆要所で、自己評価表等の提出を行ってもらいます。(予定※) (※行わないコース・組もあります。)
- ☆その他、実習上必要な書類の提出、担当ディレクターより相談受付やアドバイス等を随時行っていきます。



よく寄せられる質問です。(Q&A)

Q 一人で参加しても大丈夫ですか？

一人で参加する人は毎回たくさんいます。初めは緊張するかもしれませんが、共に活動し、行動することによりすぐに仲間になれます。あなたの想いを歓迎します。

Q 初めて参加ですが大丈夫ですか？

毎年、初めて参加する人はたくさんいます。基本的に、あなた自身に「明確な目的」や「学ぶ意識」などをしっかりもっていれば大丈夫です。また、事前説明研修会も設定してありますので、そこに参加していただければ不安な想いは解消されるかと思えます。(※事前説明研修会：冬季は、詳細資料に代替させて頂く場合があります。)

Q どうやって福井県(大野市)まで行けばいいですか？

関西地方の方は、JR新大阪駅、東海地方の方は、JR名古屋駅・JR岐阜駅、北陸地方の方は、JR福井駅・現地での集合解散場所を設けてあります。各集合解散場所からは当校にて手配したバス(無料)または、当校所有者や電車にて参加する子どもたちの引率サポートを兼ねて現地まで向かいます。関西、東海、北陸在住以外の方は、新大阪駅/名古屋駅/岐阜駅/福井駅に集合していただきます。(但し、交通手段・経路・時間は当校指定になります。)帰りも合わせて本校担当者と相談、調整ください。全国各地在住の方は、一度事務局に相談ください。

Q もし、事故にあったらどうなりますか？また、子どもに怪我を負わせてしまったらどうなりますか？

当校としては、そのようなことがないように十分に安全管理や危機意識をもって対応しますが、参加するカウンセラー自身もそのようなことが起きないよう、まずは安全管理の確認、危機意識等のしっかりとした心構えを持ち活動にあたってください。万が一あなたに事故が起こった場合は、精一杯の対応をさせていただきます。応急手当をした後、緊急連絡先に連絡をとりつつ必要に応じて医療機関に搬送します。

また、傷害保険に加入しておりますので、その範囲内で補償させていただきます。

また、万が一子どもに怪我などを負わせてしまった場合は、責任の所在等を明確にしながら、対応にあたります。

Q 当日、悪天候の場合はどうなりますか？

プログラムにより対応は異なりますが、多少の雨の場合でも、レインコート等(冬季は、スキーウェア等)を着て活動を行います。ただし、野外での活動が難しい場合は室内プログラムに変更となる場合があります。

Q お風呂には入れますか？

キャンプ(野外活動)中ということで、毎日の入浴と長い時間の入浴はできません。(尚、1日目(集合日)の入浴・シャワーは予定していません。但し、冬季1泊2日は、1日目(集合日)の入浴・シャワーを予定しています。)

基本的には活動の後には汚れを落とす程度のシャワー等で身体を洗います。

自宅に帰ったらゆっくりとお風呂に入ってください。※その他、例えばアトピー性皮膚炎などの疾病で入浴を必要とする場合には、必ず申込時点で連絡・相談を願います。

Q 複数参加ってできますか？

1組や1コースだけは物足りない方は複数・連続参加OKです。連続の場合は、途中、洗濯することができます。夏季は長期も募集しています。

Q 寝袋のレンタルはできますか？

夏季に関して、寝袋や掛けふとんのレンタルは行っておりません。寝袋の持参が困難な場合は、タオルケットやバスタオルでも結構です。ただし、夏季といっても梅雨の時期、8月下旬、雨天時などあまり気温があがらなく早朝に肌寒いときがありますので予めご了承ください。詳細は「持ち物について」を参照ください。(※冬季は、寝具が備えてあります。)

Q 会場周辺の気温はどうか？

<夏季>日中は30度を越える真夏日の暑さになりますが、朝・夜は20度～22度と半そででは肌寒い感じになります。(特に7月の梅雨の時期や盆過ぎは朝夕と日中の気温差が10℃以上ある日があります。)

<冬季>日中の天候は変わりやすく、晴れ、くもり、雨、雪、風が頻繁にかかります。朝・夜は外気温で氷点下～0度と非常に寒いです。12月、3月はやや暖かくなります。(特に1月と2月は、外気温で-7℃～-5℃という日も時にはあります。)

Q キャンセルをしたい場合は「無連絡」でも大丈夫ですか？

「無連絡」はキャンセルの意思表示にはなりません。都合が悪くなった時点でできるだけ早く当校に連絡を入れ、手続きをとってください。

申込んだ以上、皆さんを戦力として期待し準備していますから、無連絡のキャンセルは当校としても非常に迷惑します。大人として責任ある行為行動を行ってください。

Q コミュニケーションが苦手な私でも大丈夫ですか？

カウンセラーにとって、コミュニケーション能力は必須です。カウンセラーだけでなく人生においてコミュニケーション力は、最も重要な力の一つです。コミュニケーション力は、情報を発信する力・受ける力、情報を的確に理解する力や相手の心情を察する力、場を和ます力などほかにも多種多様な力を必要とする総合的な能力です。ですからコミュニケーションが得意といっても実は、情報発信やリードするのが得意というケースで、受ける力(聞き上手、理解上手など)や相手の心情を察するというのが苦手な方もいます。コミュニケーション力のすべての要素が苦手という人はいません。得意な要素から始めて、次第に苦手なことも克服できるようにチャレンジしてください。そういった意味では、カウンセラーはバランスのとれたコミュニケーション能力を養うには最適なボランティア参加型学習プログラムといえます。

Q 子どもと関わった経験やボランティア活動経験がないけど大丈夫ですか？

子どもと真剣に関わりたい。関わってみたいという気持ちがあれば大丈夫です。子どもと本当の意味で関わる当校のキャンプ・カウンセラーは、ものすごく大変です。人としてオトナとして“ひとまわり”も“ふたまわり”も成長できると思います。達成感や場合によっては、深い感動もあります。長く寝食(キャンプ合宿生活)をとると、まるで実際の親になったような感覚になるカウンセラーもいます。その子どもと創るもう一つの家族体験をあなたも是非経験してください。

Q キャンプ生活や野外活動の経験がないけど大丈夫ですか？

野外活動やキャンプ合宿活動の経験がなくても大丈夫です。担当スタッフや指導員の説明や指示をしっかりと聞いて、理解し、実践していただければOKです。

もちろん、担当スタッフや経験・実績のある他のカウンセラーなどがサポートも行います。最初は、難しい、分からないことが多いと思いますが、キャンプ合宿生活や野外活動の世界は、実践が一番重要です。まずは、やってみること。勇気を持って新しい一歩を踏み出してください。

また、興味があれば、火おこしや料理、野外活動、遊びやレクリエーションなどを勉強してきて、子どもが学ぶことを優先に考えた上で実践する場にしてください。

Q ボランティア実習証明書を発行してもらえますか？

ボランティア実習証明書を発行することができますので、必要な方は本部事務局にお問い合わせください。学校での単位履修に必要な場合や就職活動上の資料として活用してください。

その他の事で気になること、疑問、質問はお気軽にお問い合わせください。

当校のキャンプ・合宿は団体行動、団体生活が基本となります。また、青少年健全育成活動ですので、以下の事項を読んで、守って参加をしてください。キャンプ・合宿期間中、守れないと見受けましたら、途中帰宅(実費自己負担)してもらった場合があります。

■参加小中学生にどのように接するか。

キャンプ・カウンセラー(ボランティアスタッフ含む)は、参加する年長、小中学生の子どもたちにとって、トモダチであり、兄・姉であり、場合によっては、父・母にならなければなりません。そして、人生の先輩として、社会に生きるオトナとして自覚をもって接しなければなりません。キャンプ・カウンセラーの対象は、高校生以上ですが、法律上未成年でも、当校のキャンプ合宿生活上においては(参加する年長、小中学生から見れば)リーダー/カウンセラーやスタッフの人は、皆オトナなのです。オトナとしての自覚と責任感、子どもたちの声や様子に五感をフルに使う必要があり、子どもたちの心身の安全管理を基本の仕事(役割)とした上で、一緒に遊び、一緒に考え、一緒に学び合うスタイルを守ってください。

〈具体的には…〉

(子どもの心身の安全確保)

キャンプや野外活動では、すり(切)傷・ヤケドなど様々な怪我が起こりえます。それらを予防する努力をしてください。

また、ケンカや仲間ははずれ、密かな誹謗中傷にいつの間にか心が痛んでいる場合もあります。一人ぼっちでいたり、楽しみなさそうな場合、楽しそうでも実はイヤなことを隠しているということもありますので「心の安全ケア」は重要であり、難しい場合もありますが、それらをしっかりカウンセリングする努力をしてください。稀に、カウンセラーの一言や行動そのもので子どもが傷つく場合がありますので、慎重な言動をお願いします。



(子どもの身のまわりのサポート)

参加する子どもたちは、低学年から参加することが可能です。特に低年齢の子どもは、何をしても「わからない」「できない」となるケースがあります。そのような子どもにとって、父母の代わりになってサポートする必要があります。参加する子どもたちの参加ルール「自分のことは自分でする。」があるので、どの程度、頑張ってもらおうか、どの程度サポートするのかの判断は、難しい場合もありますが、状況に合わせて言動できる「力」を学ぶ努力をお願いします。

(子どもたちの遊びリーダー・体験学習リーダー)

参加する子どもたちの父母は、同伴しません。兄弟や元々の友達で参加する子もいますが、独りで参加する子も多くいます。ほぼ全員見ず知らずの状態だと不安がいっぱいです。その不安を支えてあげられるのが、あなたがリーダー/カウンセラーです。カウンセリングやサポートだけでなく一緒に(同じ目線で)遊んで、一緒に学ぶ必要があります。皆さんが楽しく元気な姿を見せ、見ず知らずの他カウンセラーやスタッフとコミュニケーションをたくさんとり、互いに学び合い、常に真剣に取り組んでいる姿勢を子どもたちに見せてほしいと願います。



■当校の担当スタッフや責任者とのように接するか

キャンプ・合宿の事業運営上、活動プログラム内容・子どもたちへの対応について、本部(スタッフ)からの指示・伝達事項以外は自己判断を避けてください。自己判断をしたことで、思わぬトラブルや事故などを招きますので十分に注意する必要があります。また「報告・連絡・相談」を密に行うようにしてください。この「報告・連絡・相談」を中心としたコミュニケーションを基本にして協働するスタイル(「協働」認め合え、信頼でき、お互いの立場と責任を共有できる関係性)を守ってください。

また、当校スタッフ等には「言葉づかい」や「礼儀をわきまえた言動」を行ってください。当校のスタッフや責任者は、それぞれが指導者であり、本事業が成功するための裏方業務の仕事をしています。ボランティアの皆さんのお友達ではありません。当校の職員に向けた「不快な態度」「タメ口」などは一切禁止します。参加する子どもからは、スタッフ・指導者も「キャンプネーム」で呼ばれますし、お友達感覚の言葉＝タメ口で話してくることを容認していますが、あくまでも子どもとの距離を縮め、柔和な関係性づくりのための「意図」があります。しかし、ボランティアの皆さんは大人で子ども(参加者)ではありませんから、しっかりとした「言葉づかい」「節度ある立ち居振る舞い」に留意するよう努めてください。



■他のカウンセラーとのように接するか

キャンプ・合宿に、兄弟や友達で参加するカウンセラーも若干いますが、独りで参加するリーダー/カウンセラーも多くいます。一つの日程に4人～7人前後のカウンセラー(ボランティアスタッフ含む)が参加し、ほぼ全員見ず知らずの状態だと不安がいっぱいです。その不安の中にいつまでもいる子どもたちのカウンセリングやサポート、リードができないので、他のカウンセラーと少しでも早く、「協働」できる気持ちを持つ必要があります。本部(スタッフ)ともそうですが、他のカウンセラーとも「報告・相談・連絡」を基本とした密なコミュニケーションをとりつつ、子どものことを第一に考えながら、キャンプ合宿が成功するためにどうしたらいいかを念頭に行動し合ってください。

■留意事項(禁止事項含む)【一部抜粋】

- 恋愛の禁止！キャンプ・合宿当日の恋愛および疑われる行為など一切を禁止します。
- セクハラ・反社会行為禁止！セクハラ行為および反社会行為、疑われる行為一切を禁止します。(犯罪行為には厳しく対応します。)
- 飲酒・喫煙禁止！一切の飲酒・喫煙行為を禁止します。
- キャンプ・合宿以外での交流禁止！キャンプ終了後、参加した子どもと個人的に会うなどの交流を原則禁止します。特に個人的に会うなどをして生じた事故やトラブルはいかなる理由があっても当校として一切関与しません。

■その他、就寝・起床時間の厳守を！

起床は6時です。(7時の時もあり。)子ども達と一緒に起き、1日の活動を共にスタートします。子どもたちの就寝は21時です。その後、1時間程の全体ミーティングを行った後、1時間程時間がありますが(消灯23時)、子どもたちは就寝しているので静かにしてご自身の就寝準備等を行ってください。宴会、遊び、夜更かし、徘徊等は禁止します。※睡眠を充分にとり、翌日の活動に備えましょう！

注) 規則やルール、モラルなどに反すること、お知らせや注意事項に反することなどをオトナがしているのでは、子どもに示しがつきません。例え、注意をしても説得力がありません。まずは自分自身の姿をチェックしてください。子どもたちは、皆さんが思っている以上に皆さんの姿を見ています。



申込期間について

受付開始:平成30年6月15日(金)～平成30年7月13日(金)16時まで(必着)

※尚、募集人数に達しないコース・組がある場合は、7月13日(金)16時以降および夏キャンプ期間中も3次募集を行います。

	第1次	第2次	第3次
募集期間	6/15(金)～7/6(金)16時(必着)	7/6(金)～7/13(金)16時(必着)	7/13(金)～

各日程の募集人数をオーバーする希望者があった場合は、書類選考で、このキャンプ合宿に参加したい！学びたい！成長したい！という目的意識が強い人を優先に選びます。第4希望まで出す方は、参加したいという意思が伝わってきます。また、申込書類に考えや思いがしっかり記載されていると学びたい、成長したいという思いが伝わります。こういったポイントも参考にしてください。

< 注意 >

書類選考等でお断りさせていただく場合があります。(※記載に不備や不明瞭さ、誠実さ・真面目さがない場合など)また、応募多数の場合は、2次と1次応募者では、1次募集に応募してきた方は若干の考慮対象※となります。

※早く申し込んできた方は、参加したいという思いが強いと考えられるので、応募多でどの方に参加してもらおうか判断が難しいときは、参加してもらい可能性が2次よりも1次応募者のほうが高いという意味です。

申込のポイント



申込手続きについて

1. 所定の申込書を当校までお送りください。(インターネット(当校ホームページから)、郵送、FAX、持参可)

必ず写真を添付してください。携帯電話のカメラで撮影し、そのまま画像をメール添付で送信されても構いません。その場合は、必ず「カウンセラー希望の●●です。」と氏名とキャンプネームを記載ください。インターネットの場合も画像で送信ください。尚、添付されていない場合は申し込みを受理できません。

2. 6/15(金)～7/13(金)16時までが募集期間です。到着確認の電話(電話ヒアリング)と書類選考で、「参加してください。／今回は見送らせてください。」のどちらかを判断し、随時または、指定日までに結果を通知します。応募人数が多い日程を希望されている場合は、説明研修会後または、指定日に結果を通知します。尚、説明研修会出席後に、やはり人数が多くて「今回は見送らせてください。」と伝えるしかない時がありますので、予めご了承ください。

参加可通知(参加もOK・日程もOK者と参加はOK・日程は未定者がいます。)をメールで送信します。電話ヒアリングと書類選考で落選の場合は、参加見送り通知をメールで送信します。書類選考通過でも応募多数の日程の場合は、事前説明研修会後に、双方の人数調整を経て、当校と希望者が同意できれば、その日程で参加可を通知します。難しい場合は、参加見送りメールを通知します。事前説明研修会当日に日程の相談をさせていただくこともあります。

※選考結果内容についての問い合わせには、お答えしません。

3. 説明研修会への参加(必須)

カウンセラー(兼ボランティアスタッフ)説明会案内(別紙)に記載の日時・場所で説明会を行いますので、ご参加ください。

※福井県外在住者で説明研修会に参加できない方や説明研修会終了後の参加応募者は、当校まで必ず相談ください。

申込後の電話をしましょう!



申込手順について

①申込書に記入	募集要項をご覧のうえ、すべてを理解・賛同・承諾後に申込書にご記入ください。 注1申込希望書には必ずご自身のサイン・押印をしてください。 注2高校生の方は保護者のサイン・押印も必要です。
②申し込み	→ インターネットの場合 当校ホームページ内「キャンプボランティア募集」にあります申込フォームより入力後、送信ください。 当校ホームページアドレス http://www.arukus.or.jp
	→ インターネット以外の場合 同封、もしくは当校ホームページ内「キャンプボランティア募集」にあります PDF 版の申込書に記入いただき、郵送か FAX でお送りください。 《 郵送の場合 》 関西本部事務局まで (住所は、本書住所欄参照のこと) 《 FAX の場合 》 関西本部 FAX:06-6170-1444 (大阪府吹田市本部事務局)まで
③主催者に電話を!	ネット・FAX・郵送で申し込みの場合 送信後、当校営業日2日(48H)以内に「到着・内容確認の電話」(関西本部:06-6170-1201)をかけてください。当校休業日(主に土・日・祝)はネット、FAXの受付は可能ですが、休業日のため「到着・内容確認の電話」に対応できませんので営業日・時間内に電話をください。(例えば、金曜日の 16 時～深夜に申し込んだ場合に月曜日には電話をくださいというニュアンスです。本当は、送信後10～15分後ぐらいが望ましいです。)
④申込締切	締切は、1次7月6日(金)16時まで、2次7月13日(金)16時まで必着です。 (尚、定員に達しないコース・組がある場合は、7月13日16時以降および夏キャンプ期間中も3次募集を行います。)
⑤書類選考	書類選考後に参加可/参加見送り通知を送信します。(原則メールにて)定員オーバーの日程の場合は、日程移動をお願いします。(人数調整と呼んでいます。)できるだけ、第4希望まで申込書に記載ください。欄外に第5希望以降も記載しても構いません。
⑥説明・研修会	当日時間に遅れることのないように集合ください。(遅れることが事前に分かっている場合は事前に本校担当者の承諾を得てください。)説明研修会中及び終了後に、教育実習上不適切・不適當の判断で実習参加をお断りさせていただく場合もありますので、ご了承ください。(会場で実習誓約書など実習に必要な書類の記載および提出をいただきます。(予定))
⑦事務連絡通知(最終版)	説明会終了後、最終版の事務連絡通知を郵送またはメールにてお送りいたします。そちらをご覧くださいまして当日の準備を行ってください。

「到着・内容確認の電話」について

参加申込書送信後または郵送後に当校営業日2日(48H)以内※に「到着・内容確認の電話」(関西本部:06-6170-1201)を必ず行ってください。
(※書類やデータが当校に到着していると思われる日から起算して当校営業日2日(48H)以内)

1. 参加申込書送信後当校営業日2日(48H)以内に「到着・確認電話」がない場合は受理できませんのでご注意ください。
2. FAX・インターネットでお申し込みされた方は、ときどき誤送信・送信エラーや裏面での送信、記入漏れや記入の内容が確認できない場合がありますのでご注意ください。
3. 簡単なヒアリングを同時に行います。参加する年中、小中学生の誠実なサポートやケアを必要とする観点から簡単なヒアリングをさせていただきます。必ず時間に余裕★をもって各自からお電話をいただくようお願いいたします。
★電話所要時間(1人当りの目安):「過去参加の方は約3分」「初めての方は約5分」(若干の増減あり)

過去に参加したキャンプ・カウンセラー(相談員:リーダー含む)たちの声です。一部紹介します!!

このキャンプに参加して、子ども達と自分が成長していくのを感じました。子どもと一緒に笑う時が多く、子ども同士の喧嘩もありましたが、僕も子どももそこから新たな友情が生まれたのではないかと思います。活動で協力をしたり、語ったりしてボランティアのリーダーとも友情を深めることができました。また、子ども達にどう関わっていくのかを深く考えると、自然に自分を見つめ直す時間ももてました。山、海、川といった自然の中での活動もすべてが新鮮で心に残りました。福井の大自然の素晴らしい環境は他では経験できないと思います。子ども達を中心に、何も無いところからその時のメンバーで、すべてを創っていくキャンプ。その過程を通してとても貴重な時間を過ごすことができました。短い期間だけど、すごく充実していました。

キャンプネーム:しばっち

今年のキャンプは私にとって始めは長かった気がしたけれど過ごしたら本当に短かったキャンプでした。子ども達と生活することは楽しく、自分自身が生き生きできるものでした。そして人と支え合うことの大切さを再確認させられました。お互いに毎日成長できるこのキャンプに参加して良かったと思う今日この頃です。

今回キャンプに参加させてもらうことができたくさんの子どもとお友達になることができとても幸せに思います。このキャンプで子どもたちに心に残る良い思い出になってくれたら私が過ごしてきたキャンプは成功だと思います。このキャンプで感じたことや体験を生かしこれからも自分自身を成長させていきたいです。

キャンプネーム:はっち

お問い合わせ・申込み先(関西本部)

体験から気づき・考え・学び、生きてゆく力を養う

特定非営利活動法人アルクス教育研究所(日本アルクス自然学校)

＜関西本部＞

大阪府吹田市豊津町11-37 真建ビル4F TEL:06-6170-1201 FAX:06-6170-1444

＜福井本校(キャンプ会場)＞

福井県大野市南六呂師169-124 自然楽舎内TEL:0779-67-1239 FAX:0779-67-1231

URL:<http://www.arukus.or.jp> E-mail:leader@arukus.or.jp(リーダー用メールアドレス)

受付時間:当校営業日(主に平日)の10:00~17:00(※16:00以降は翌日扱い)

メール・FAXは
24時間受信可



ホームページ
QRコード

Camp Agreement.

Copyright (C) 2018 NPO Japan Arukus Nature School. All rights reserved.

日本アルクス自然学校 掲載情報の著作権は提供元企業・団体等に帰属します。
無断転用等一切を禁じます。

ボランティア受付は関西本部が一括していますので
関西本部へ問合せや申込みをお願いします。